

⑦ 不妊去勢手術の実施

不妊去勢手術を全ての猫に実施すれば、繁殖によって数が増えることはなくなり、地域猫の平均寿命は7～8年と言われているため、徐々にその数を減らすことができます。

また、手術を行うことにより、マーキングや闘争等発情に起因する問題の軽減も期待できます。

手術費用については、寄附・募金・自治会による予算化等の他、フリーマーケット等で集める方法があります。

行政は捕獲のための技術的支援を行います。また、市町によっては不妊去勢手術費用の補助を行っておりますので、お住まいの市町へお問合せください。

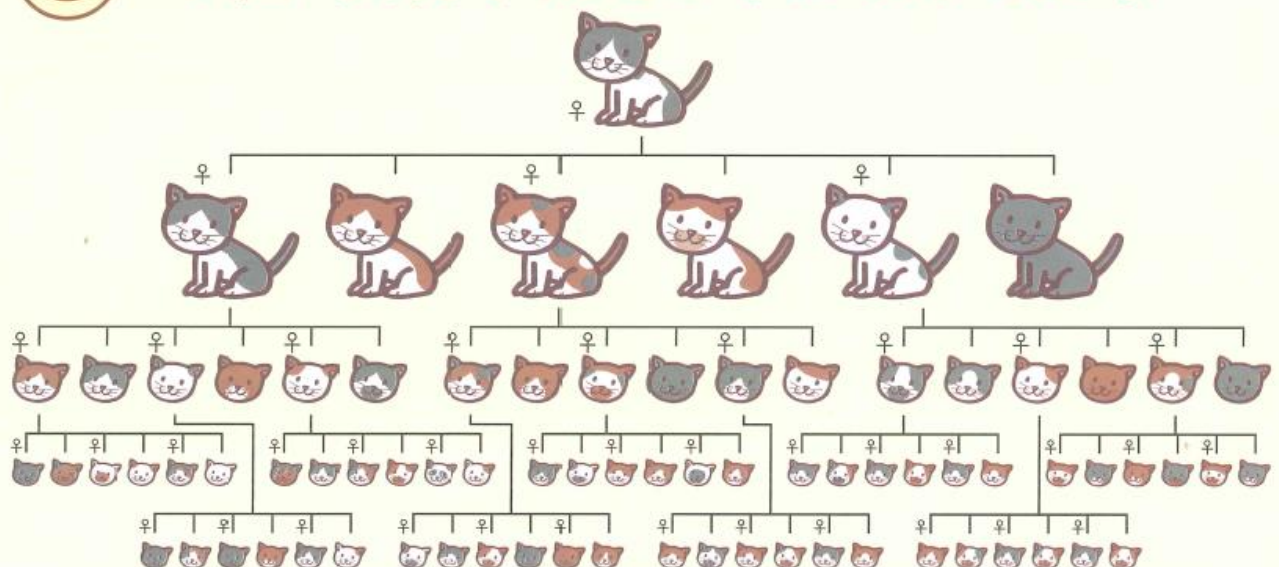
動物愛護団体等は、捕獲のための技術的・機器的支援や手術費用の資金援助、手術を実施する動物病院との調整等、その団体が有するノウハウを活用した援助を行います。



1度の捕獲作業で全ての猫を手術することは困難なので、手術済みであることを明確にするために、耳の先端をV字にカットする等、外見から容易に識別ができるようにしましょう。



不妊・去勢手術をしていなかったら…



ねこはどんどん増えていってしまいます。

⑧ 猫の譲渡

事故やケンカによる外傷、感染症等により、地域猫の平均寿命は短いため、人に馴れている猫がいれば可能な限り、新たな飼い主への譲渡を行うようにしましょう。

譲渡の際は、新しい飼い主に元々地域猫であったことや、室内飼養・終生飼養の徹底等について、十分に説明を行ってください。

行政・動物愛護団体等は、広報等を用いた譲渡に関する周知や、譲渡会の開催等、様々な方法で支援を行います。



⑨ 新たな捨て猫の防止

「地域猫活動を実施している地域に猫を持って来れば管理してくれる」などの理由で猫を捨てにくるケースが考えられます。

これらを防止するためには、パトロールの実施や動物の遺棄は犯罪であることを示した看板を設置し、遺棄する人を見つかり明らかに遺棄されたであろう猫を見つけた場合は、警察に通報するようにしましょう。

*参考：動物の愛護及び管理に関する法律第四十四条第3項
愛護動物を遺棄した者は、百万円以下の罰金に処する。

